

NPO 法人

ちゅうりっぷのうた便り

NO. 187
2018.9月

涙の九月

九月ともなり川岸ガーデンの萩栄え、ピンクの花が川面に垂れ満開の花に敷き詰められる頃、風も朝夕は涼やかで秋の訪れが感じられます。季節は毎年変わりなくきちんと繰り返しやってきます。



ところが人は思わぬ事態に見舞われるものです。九月に始まって間もなくの頃、入院中のT君からTELがあり、一般病棟に移れたこと、「ちゅうりっぷのうた」のお楽しみ会(カラオケ大会)のこと、食事は誰もが好きなものを食べることができるバイキングがカラオケBOXの近くにあるので、そこにしたらという提案をしてくれたのです。それがT君の最後の言葉です。



そして、また涙もかわかぬ彼岸入り、雨の降るその日R子さんの突然の訃報…昨日までにここに笑顔で来ていたのに一体何だったのでしょうか。R子さんの最後の言葉は「みんなが大好きだったよ。」と笑顔で言ったそうです。

二人のご家族の言葉は「ちゅうりっぷのうたで過ごせたこと、本当に幸せでした。」と言っていて、ここが人生のゴールであったのだと重くも価値ある場として心していきたくと深く思うところでした。

若すぎた二人の早逝！惜しみて余りあるものです。残された私たち…二人の分まで生きねばなりません。生きとかんばいかんとです。そして、生を腹いっぱい満喫しましょう。二人の分まで、明るく元気に力いっぱい生きていきましょう。

カレンダー そろそろ販売開始！

毎年、恒例のカレンダー！近々印刷も仕上がり届けていただきます。ここで働く仲間たちの魂心の作です。亡くなったR子さんの最後の作品となったページもあります。元号も5月で変わるので祝休日の標記が難しくはありましたが、印刷会社にお任せしています。新元号を祝し、表紙を緋色にしてみました。是非、ご協力いただきますよう心からお願い致します。



ありがとうはいつもかわらず

どんなことがあっても、いつも変わらぬ皆様の善意の風は吹いています。ボランティアさんそして伊達直子さん、地域の方々、町外の方のお心遣いに深く感謝をいたします。淋しく、悲しいことも皆様の温かいお心が元気の灯をつけて下さって何よりの励みになります。



敬老の日、グループホームは年配の方3名の泊りでありました。夜間管理の森さんになんと花祭りがん花フェスタへドライブしてもらい、里山の畦を彩るひがん花を見せていただき大喜びだったそうです。食事はレストランにいったのおごちそう…お心遣い本当にありがとうございました。

又、上口さんにはいつも変わらず散歩に連れ出してもらい、遠く、近く、ホームの住人の体調に合わせてコースを決めてもらっています。有りがたいことです。

ギャラリー案内

10/22(月) ~ 10/31(水)

第16回 シニア世代 匠の技展

11月の予定 カレンダー原画展



障がい福祉作業所・ギャラリー ちゅうりっぷのうた
代表 本村容子

☎849-0501 佐賀県杵島郡江北町大字山口1399番地7(肥前山口駅南)
【TEL・FAX】0952-86-4520 【ホームページ】 <http://tulip8.com>

